

登録コード	FSE01500	開講年度	2026			
授業題目	化学・材料演習				担当教員	佐藤 高彰 他
英文授業名	Seminar of Chemistry and Materials I				副担当	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】	
	26FS加・繊維学					
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく、卓越した実践的技術力および研究能力				専門分野における深い学識に基づく、卓越した実践的技術力および研究能力	
(2)授業の概要	担当教員ごとの少人数グループに分かれて、集中形式で計15時間の演習を実施する。 受講する大学院生が化学・材料に関連する資料をまとめてプレゼンテーションを行い、担当教員および演習参加の大学院生間で討論を行う。 修士課程の1年目に「化学・材料演習」とともに通年で受講することを原則とする。					
(3)授業計画	各研究室の研究計画に沿って進める。 ・ガイダンス、化学と材料に関連する英文論文読解のための基礎知識解説(全教員) ・化学と材料に関するデータベース検索演習(全教員) ・研究課題に関する資料の選定(全教員) ・収集した文献情報の理解とまとめ(全教員) ・基礎調査に関する手法と演習(全教員) ・化学・材料に関する学術論文輪講及び解説(全員) ・課題や問題点の明確化(全教員) ・検索した英文論文の内容についてプレゼンテーション演習及びグループ討論(全教員)					
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。 得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、 89 - 80%優、 79 - 70% 良、 69 - 60% 可、 59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	以下の基準に基づき評価する 1．資料の準備 (a) 雑誌会で取り上げる英語論文の選定理由が説明できる (b) 論文の内容がパワーポイントなどにまとめられている (c) 雑誌会でわかりやすく説明できるように工夫されている 2．内容の理解 (a) その論文が明らかにした事が理解できている (b) 論文の図表、式、数値の示す内容が理解できている 3．要点の整理 (a) 論文の要点を把握している (b) 論文の要点を整理して簡潔にまとめている 4．質疑応答 (a) 質問の意図が把握できている (b) 質問に対して論文の内容を照らして答えることができる (c) 質疑応答が論文の内容を反映しており的確である 5．その他 紹介する文献に記載の参考文献のうち重要なものに目を通して					
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意	指導教員に従って行動すること					
(8)質問、相談への対応	指導教員が対応する					
(9)授業の形式	指導教員が決定する					
(10)学生へのメッセージ						
【教科書】	指導教員が決定する					
【参考書】	指導教員が決定する					